

議 事 概 要

分科会名称	伊勢市地域包括ケア推進協議会 令和6年度 認知症にやさしいまちづくり分科会
開催日時	令和7年2月13日（木） 16:00～17:10
開催場所	伊勢市福祉総合支援センター 会議室1
出席した委員	7名 村瀬分科会長、森川委員、浦田委員 〔臨時委員〕 山川委員（職務代理者）、西川委員、田中委員、 荒田委員
出席した事務局職員	12名 福祉総合支援センター 5名 各地域包括支援センターの認知症地域支援推進員 6名 第1層生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員） 1名
傍聴者	0名
議題及び協議概要	○説明 1. 令和6年度「伊勢市の認知症施策の取り組み状況」（資料1） 2. 令和7年度認知症施策の取組について（資料2） ○事務局の説明後の意見等は以下のとおりである。 （委員） 認知症施策の取り組みは、どのように紹介しているか。 文字だけではなく、感想や様子を載せていくとイメージしやすく、利用につながるのではないかと。 （事務局） 広報「いせ」や「各地域包括たより」、チラシなどでお知らせしているが、今後、ご意見を参考に工夫して周知していく。 （委員） 認知症キッズサポーターの養成は、広がってきている認識でよいかと。 （事務局） 委員からの紹介で新たに実施する学校が増え、広がっている。 （認知症地域支援推進員） 担当地域にある学校にあいさつに上がり、認知症キッズサポーター養成講座の開催につながった。

	(委員) いろんなところで芽が出始めている。やってみてまた次につながっていく。 (委員) 小学生は小学生、中学生は中学生なりの視点がある。どんどん広げていってほしい。子供たちが持ち帰ってお父さんやお母さんに話すことで、また地域に広がっていく。 (委員) VR で認知症の人の世界に触れるような機会があればいい。 (事務局) 地域包括支援センターが実施する地域ケア会議で VR を活用したことがあった。 認知症の理解を深める取組として、地域に応じた方法の検討をしていく。 (委員) 災害時の認知症の方への対応はどのようになっているか。 (事務局) 高齢者だけの世帯など対象は決まっているが、避難時に支援が必要な方には、個別避難計画（伊勢市避難行動要支援者制度）を地域の支援者と共有することになっている。 認知症の方だけでなく疾患のある方の災害時ケアマネジメントについて、関係課とともに検討をしていく。 (委員) MCI（軽度認知障害）や初期の認知症としての意識がない時期に特殊詐欺にあってしまうことがある。家族はどうしてよいかわからない。警察や市に相談して対応した。災害とともに高齢者の防犯についてもお願いしたい。 (事務局) 今後、関係課とともに検討していく。 (事務局) 会議内容は 3 月 25 日開催の地域包括ケア推進協議会で報告する。委員の任期は 3 月 31 日で終了。 (以上)
--	--